文部科学省
平成26年度大学教育再生加速プログラム採択事業

平成26年度 大学教育再生加速プログラム テーマⅢ（入試改革）採択事業

2018年度 アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書

想像もしなかった自分史がはじまる
追手門学院大学

副学長あいさつ

2019年3月、アサーティブ入試で入学した、アサーティブ1期生が卒業していきました。この学生たちは、そのほとんどが本学を第一志望として入学してきましたが、就職先も、そのほとんどが第一志望だったとのことです。1期生たちが、本学の教育理念である「独立自彊・社会有為」を身にまとって、社会の荒波にもまれながら活躍しているであろう、10年後・20年後の一層成長している姿が楽しみです。

2014年度にスタートした本学のアサーティブの取組は、全国的な入試改革の動きの中で、他に類を見ない先進性や新規性もあって、当初から学内外で過剰なまでに期待され、神経質なほどの検証を求められてきました。そのことは、同年度から開始された文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」の入試改革領域で採択され(私立大学では本学のみ、他はお茶の水女子大学と岡山大学)、2017年度の中間評価で「S」評価とされて、さらに加速されることになりました。

私たちは、独りよがりにならず、これらの期待に応えるために、学外の有識者で構成する「外部評価委員会」で毎年2回独自に評価を受け、なおかつ、「学びと成長の可視化」のためにベネッセ教育総合研究所と本学アサーティブ研究センターとで、アサーティブ2期生の追跡調査と検証等の共同研究を行ってきました。その研究成果は、毎年3月に行われる京都大学教育研究フォーラムでも発表しています。2017年度末には、冊子にまとめました。

アサーティブの取組を始めたそもそもの目的は、本学で学ぶ目的や意欲を基礎学力も含めて「入試前」から育成し、入学後は主体的に学び・行動して成長していくことができる学生を数多く入学させたい、ということでした。この取組を始めた当時の講義風景や学生へのインタビューで、大学で学ぶ目的や意欲が乏しい学生があまりにも多いことに驚愕したことがこの取組への直接的な契機となりました。

2012年当時の学生生活実態調査では、本学を第一志望として入学した学生の割合は12.7%でしたが、2018年度に本学を第一志望として入学した学生は46.9%になりました。2012年以前から本学で教鞭をとっている教員たちは、こもごもに学生たちの学ぶ姿勢が大きく改善したと言います。この間、様々な教育改革の取組やSDの取組を行ってきたことと相俟って、第一志望の学生を「育てて」入学させたことが大きく貢献していることは間違いありません。

2019年度入試では、アサーティブ入試で入学した学生は114名で全体の6.1%でした。アサーティブプログラムを受けながらアサーティブ入試以外の入試で入学した学生を含めると329名で全体の17.7%でした。アサーティブの取組に参加した学生のほとんどが第一志望であることを考えれば、2012年当時が12.7%だったわけですから、これだけでも第一志望で数多くの学生を入学させることに大きく貢献したことがお分かりいただけると思います。

さて、冒頭にも記した通り、アサーティブの1期生を社会に送り出しました。私たちには、これまでを振り返り、評価できることや改善を要することを明らかにして、一層の発展を期す責任があると思います。

詳細なデータは、本報告書の内容を参照いただくとして、本年3月に行った、「外部評価報告会」で報告した、これまでの取組の総括を記しておきます。

「評価できること」

- アサーティブ入試で入学した学生の成長は、GPAでは物足りない側面はあるものの、他の入試で入学した学生に比べて、特段に劣るものでないこと。就職実績も然りだが、多くの学生がアサーティブスタッフ、オープンキャンパススタッフ、OLS、山祭実行委員、追風、各種部活・サークル等で役割を担っている。
- 1期生の多くが4年間の学生生活に満足していること。
- 単なる入試改革でなく、教育改革の一環として位置づけ、教育改革本部でのカリキュラムマップ策定、オイナビや検定テストの導入、WILへの発展につなげてきたこと。
- 大学教育再生加速プログラムの補助金を獲得し、マナボスのシステム開発などを中心に、文字通り改革の加速をしてきたこと。
- 第一志望者を劇的に増加させる大きな要因になったこと。
- 大学全体の連続志願者増の一翼を担ったこと。
- 職員のSDに貢献できていること。
- 学院内外の高校と新たな高大接続・連携の手法を開発しつつあること。
- 本学の入試改革や教育改革に対する真摯な取り組み姿勢が、文部科学省や大学関係者、高校教員、メディアなどに広く伝わり、大学のブランド力向上に大いに貢献していること。

「改善を要すること」

- アサーティブプログラムの面談で、学ぶ意欲を一層引き出すことのできる面談力を向上させるための研究・開発。
- 受験生の基礎学力の向上。⇒2019年度入試で基礎学力の合格最低点を上げた。2020年度入試で、従来の国語と数学に加え、英語を導入する。

・CBTのシステムを開発し、基礎学力の確認を受験生も大学も入試の前に確認できるようにすること。
・ICTを活用して、遠隔地からでも面談ができるようにすること。
・アサーティブ入試で入学した学生たちへの新たな入学前プログラムの開発。
・入試種類の特徴に合わせた入学前教育プログラム等の開発。
・総持寺キャンパスでの新たな取組。

以上のように、この間、大きな成果も得たと同時に、解決すべき課題もまだまだありますので、引き続きご指導ご鞭撻いただきますようお願いいたします。

なお、アサーティブプログラム・アサーティブ入試の名称は、本学が商標登録しております。名称を独占したり、使用料を請求するためではなく、アサーティブの取組の意図と異なる取組が行われることを防止したいためです。同じ名称を使って、全く違う取組がされると、高校生やその保護者、高校教師の皆さんに混乱をもたらすことになってしまいます。この趣旨をご理解いただければと存じます。他大学等で、アサーティブと同様の取組をされたい場合は、本学アサーティブ課までご相談ください。複数の大学等が共同して取組を行うことによって、日本の高等教育の発展に大いに貢献したいと考えております。ノウハウも含めてご相談に応じたいと考えております。

追手門学院大学　副学長
福島 一政

目 次

副学長あいさつ …… 01
アサーティブプログラム・アサーティブ入試の概要 …… 03
アサーティブガイダンス日程・アサーティブプログラム受講者数 …… 05
MANABOSS(マナボス)登録・利用者数および利用状況 …… 07
MANABOSS(マナボス)問題数 …… 10
アサーティブ入試日程・募集人員 …… 11
アサーティブ入試について …… 13
アサーティブプログラム受講者入試種別 志願・合格・入学者数 …… 14
研修内容・事例紹介 …… 15
個別面談職員・研修日程 …… 16
入学前学習 …… 17
報道関係・講演依頼・来訪調査 …… 18
入学者インタビュー調査 …… 19
アサーティブスタッフの活動報告 …… 22
アサーティブ入試1期生 卒業者インタビュー調査 …… 23
平成31年度 大学教育再生加速プログラム 事業計画(申請当時) …… 25

アサーティブプログラム･アサーティブ入試の概要

高校生に大学で学ぶ目的を考えさせ、大学で学ぶ姿勢と意欲を持つことができるように育てる**アサーティブプログラム**と、そのことを検証する**アサーティブ入試**を開発した。アサーティブプログラムの特徴は、①本学職員と高校生が**個別面談**をし、将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気づくように促す。②本学が独自に開発した**MANABOSS（マナボス）システム**で基礎学力の確認と向上、計画的学習を習慣づける。同時にこのシステム上で議論するバカロレアバトルで、物事を多様な観点から考察する能力を育成し、自分の意見を述べる力や他者の意見を受け入れる姿勢を養うことができるようにする。③個別面談で話した内容や、自分の気持ち・考えを**アサーティブノート**に記録し、繰り返し振り返ることで自己成長を促す。アサーティブ入試はその成果を発揮する場であり、意欲・能力・適性に加え、基礎学力の達成度を含めた多面的・総合的な評価が可能となる。

アサーティブ入試の求める受験生像

1. 追手門学院大学で学びたいという気持ちを描き、その思いを伝えられる人
2. 今は確かな希望や理念がなくとも、知的な事柄への興味や活動を通じ、何のために学ぶのかを問い続け、努力する人
3. 高校までの基礎的な知識や技能の習得を見直し、向上しようと努力する人

コンセプト

「選抜型」入試から「育成型」入試への転換

大学で学ぶ目的を考え、学ぶ意欲と姿勢を持った受験生に入学を許可することを目的とし、受験前から「学ぶことについて考える」及び「アイデンティティの形成」の機会となるアサーティブプログラムとその成果を発揮できるアサーティブ入試。

入学前学習

高校生活の充実と、大学で学ぶことを考え続けるプログラム (P17を参照)

事業による効果（期待する入学者像）

① シラバスの活用 …何を学ぶのか、どう学ぶのか調べる
② 授業への参加意思の向上 …受身ではなく主体的な学びの姿勢
③ 各種活動の積極的参加 …とりあえず「やってみよう」の気持ち

などができる新入生の増加を期待します。

アサーティブプログラム・アサーティブ入試の流れ

アサーティブプログラム

主に関わる学力の要素

プログラム

- **ガイダンス**
  大学と受験生の「相互理解」
- **個別面談** …… 主体性を育成
  高校生のスタート地点の確認と「相互選択」
- **MANABOSS（マナボス）**
  - 基礎学力：弱点克服に向けた計画的な学習を促す …… 基礎学力の見直し
  - 追手門学院バカロレア：議論する力を身に付ける …… 思考力・判断力・表現力を育成

アサーティブ入試

入試

- **1次試験**
  - グループディスカッション …… 主体性・協調性・思考力・判断力・表現力などを評価
  - 基礎学力適正検査 …… 基礎学力を評価
- **2次試験**
  - 個別面接 …… 志望理由・意欲・知的関心等を評価

プログラム

- **入学前学習** …… 社会とのつながりを考える

アサーティブノート（自己成長の確認）

アサーティブプログラムの特徴

1 本学職員との「個別面談」

将来の自分を意識させ、大学で何を学ぶかを問い、大学で学ぶ意味を自ら気付くように促し、学ぶ意欲を引き出すことができるようにする。

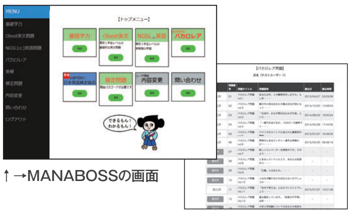
2 独自開発システム「MANABOSS（マナボス）」

【MANABOSS導入の目的】

❶基礎学力の確認と弱点の発見から計画的学習への動機づけができる。

❷論理的思考や批判的思考を始めとして、物事を多様な観点から考察する能力を育成する。

❸ポートフォリオで成長の記録を振り返ることができ、入学後の学生ポートフォリオにつなげることができる。



↑→MANABOSSの画面

基礎学力適性検査

高等学校段階の学力を客観的に把握・活用ができるように「言語能力問題」と「非言語能力問題」を準備。
「達成度」から自らの基礎学力の状態を把握し、計画的に学ぶ姿勢を養うことができる。

追手門学院バカロレア

大学において、「答えが1つではない問題」を発見し、解決するために必要な専門的知識と汎用的能力を鍛えるための準備として、与えられた課題に対してじっくり考えることを養い、SNS上で議論を展開することができる。

3 自己成長を促す「アサーティブノート」

自らのことを理解し、大きな視野で周りの状況を見極め、自分で考えたことを、相手にしっかりと伝える準備ができるノートである。
このことにより、アイデンティティの形成と自己成長を促すことになる。

アサーティブガイダンス日程・アサーティブプログラム受講者数

◆2014年度（2015年度入試対象）(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
5月25日	オープンキャンパス	46	22	10	12	0	22
6月 8日	梅田サテライト	3	3	2	1	0	3
6月17日	梅田サテライト	2	2	1	1	0	2
6月22日	オープンキャンパス	64	41	17	24	3	38
6月29日	個別対応（広島）	3	3	3	0	1	2
7月13日	オープンキャンパス	48	34	14	20	6	28
7月20日	梅田サテライト	5	5	3	2	0	5
7月27日	梅田サテライト	6	6	2	4	0	6
8月 2日	オープンキャンパス	37	30	19	11	6	24
8月 3日	オープンキャンパス	30	27	16	11	7	20
8月 9日	梅田サテライト	7	7	7	0	0	7
8月21日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
8月24日	オープンキャンパス	25	23	12	11	6	17
8月25日	個別対応（本学）	2	2	2	0	0	2
9月14日	オープンキャンパス	15	9	8	1	2	7
9月15日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月20日	梅田サテライト	1	1	1	0	0	1
9月21日	梅田サテライト	4	4	3	1	0	4
合計	18回	300	221	122	99	31	190

※リピーター実人数25名

◆2015年度（2016年度入試対象）(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
2月22日	梅田サテライト	6	6	4	2	1※	6※
3月15日	梅田サテライト	9	9	5	4	0	9
3月28日	梅田サテライト	11	9	5	4	0	9
3月29日	梅田サテライト	7	4	1	3	1※	4※
3月31日	個別対応（本学）	1	1	0	1	0	1
4月26日	梅田サテライト	5	5	2	3	0	5
5月10日	梅田サテライト	3	3	2	1	1	2
5月24日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
6月 7日	梅田サテライト	11	11	5	6	0	11
6月 9日	個別対応（高知）	1	1	0	1	0	1
6月21日	オープンキャンパス	124	102	54	48	11	91
7月 5日	梅田サテライト	9	9	8	1	2	7
7月19日	梅田サテライト	17	16	10	6	4	12
7月20日	個別対応（福岡）	1	1	0	1	0	1
7月21日	個別対応（大分・本学）	2	2	1	1	0	2
7月26日	オープンキャンパス	131	116	79	37	24	92
8月 2日	梅田サテライト	16	16	14	2	3	13
8月 4日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
8月 7日	オープンキャンパス	104	87	67	20	14	73
8月 8日	オープンキャンパス	85	77	55	22	20	57
8月23日	オープンキャンパス	103	86	63	23	26	60
8月24日	個別対応（本学）	1	1	0	1	0	1
8月26日	個別対応（本学）	1	1	0	1	0	1
9月 9日	個別対応（岡山）	1	1	1	0	0	1
9月13日	オープンキャンパス	50	52	39	13	14	38
9月27日	梅田サテライト	21	21	16	5	10	11
10月11日	梅田サテライト	12	12	9	3	2	10
10月25日	入試直前相談会	28	44	32	12	20	24
11月 2日	個別対応（本学）	2	2	2	0	0	2
11月 3日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
11月 4日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
合計	31回	777	710	486	224	153	557

※リピーター実人数113名
※個別面談実人数うち昨年度参加者2名

◆2016年度（2017年度入試対象）(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
12月23日	個別対応（本学）	1	1	1	0	1※	1※
2月28日	梅田サテライト	12	12	7	5	0	12
3月 6日	梅田サテライト	10	10	6	4	2※	10※
3月20日	梅田サテライト	15	15	6	9	0	15
3月28日	個別対応（本学）	0	1	1	0	1	0
5月 8日	梅田サテライト	27	25	19	6	4※	23※
5月22日	アサーティブイベント	41	30	17	13	8※	23※
6月 5日	梅田サテライト	11	10	8	2	1	9
6月19日	オープンキャンパス	168	138	87	51	9	129
7月 3日	梅田サテライト	19	23	12	11	0	23
7月14日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
7月17日	梅田サテライト	9	13	11	2	2	11
7月24日	オープンキャンパス	170	161	121	40	33※	129※
7月31日	梅田サテライト	24	23	16	7	2	21
8月 2日	大阪高校	18	18	13	5	3	15
8月 5日	オープンキャンパス	84	81	53	28	17	64
8月 6日	オープンキャンパス	78	75	50	25	10※	66※
8月21日	梅田サテライト	27	33	23	10	6	27
8月23日	個別対応（本学）	1	1	1	0	0	1
8月28日	オープンキャンパス	80	88	50	38	28	60
9月18日	オープンキャンパス	64	71	64	7	20	51
10月 2日	梅田サテライト	13	15	9	6	3	12
10月16日	入試直前相談会	44	46	30	16	8	38
10月30日	梅田サテライト	15	15	10	5	5	10
合計	24回	932	906	616	290	155	751

※リピーター実人数121名
※個別面談実人数うち昨年度参加者8名

◆2017年度(2018年度入試対象)(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
2月26日	梅田サテライト	12	12	6	6	0	12※1
3月 5日	梅田サテライト	13	13	5	8	0	13※2
3月26日	梅田サテライト	28	27	14	13	1	26※2
5月14日	梅田サテライト	17	17	10	7	2	15
5月28日	アサーティブイベント&オープンキャンパス	136	110	64	46	10	100※3
6月 4日	梅田サテライト	14	12	4	8	4	8
6月18日	オープンキャンパス	123	124	90	34	19	105※1
7月 2日	梅田サテライト	13	16	11	5	6	10
7月16日	梅田サテライト	18	17	12	5	3	14
7月18日	大手前2年(大学)	20	20	15	5	0	20
7月23日	オープンキャンパス	181	148	106	42	29	119※1
7月30日	梅田サテライト	16	17	16	1	2	15
8月 3日	大阪高校	25	25	25	0	10	15
8月 4日	オープンキャンパス	110	104	78	26	17	87※1
8月 5日	オープンキャンパス	72	73	46	27	16	57※2
8月20日	オープンキャンパス	65	82	60	22	30	52※1
8月24日	個別対応(本学)	2	2	1	1	0	2
9月10日	オープンキャンパス	65	62	45	17	7	55
10月 1日	グランフロント大阪	24	25	19	6	7	18
10月15日	推薦入試直前相談会	31	38	31	7	17	21※1
10月29日	グランフロント大阪	10	15	12	3	7	8
12月19日	大手前2年(大学)	19	19	14	5	19	0
合計	22回	1,014	978	684	294	206	772

※リピーター実人数158名
※個別面談実人数うち昨年度参加者15名

◆2018年度(2019年度入試対象)(単位:名)

日程	イベント・場所	ガイダンス	個別面談	男	女	リピーター	個別面談実人数
3月4日	グランフロント大阪	12	12	7	5	―	12
3月11日	グランフロント大阪	14	8	4	4	1	7
3月18日	グランフロント大阪	10	9	1	8	0	9
3月25日	グランフロント大阪	14	14	8	6	0	14
4月22日	グランフロント大阪	24	19	12	7	0	19
4月29日	グランフロント大阪	18	17	7	10	1	16
5月13日	グランフロント大阪	22	21	9	12	0	21
5月27日	アサーティブイベント/オープンキャンパス	189	146	65	81	9	137
6月3日	グランフロント大阪	18	21	11	10	4	17
6月17日	オープンキャンパス	204	164	110	54	14	150
7月8日	グランフロント大阪	40	44	24	20	6	38
7月12日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
7月22日	オープンキャンパス	263	207	139	68	35	172
7月22日	沖縄	4	4	2	2	0	4
7月25日	大阪高校	20	20	15	5	11	9
7月29日	グランフロント大阪	4	4	2	2	1	3
8月3日	オープンキャンパス	173	134	82	52	28	106
8月4日	オープンキャンパス	121	102	61	41	23	79
8月19日	オープンキャンパス	143	123	81	42	46	77
8月20日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
9月9日	オープンキャンパス	80	55	36	19	12	43
9月20日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
9月27日	大手前高校	16	16	11	5	0	16
10月2日	個別対応(本学)	2	2	2	0	0	2
10月8日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
10月14日	推薦入試直前相談会	43	34	26	8	15	19
10月21日	グランフロント大阪	22	23	16	7	10	13
10月26日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
12月20日	大手前高校	16	16	11	5	15	1
12月27日	個別対応(本学)	1	1	1	0	0	1
合計	30回	1,479	1,222	749	473	231	991

MANABOSS（マナボス）登録・利用者数および利用状況

◆MANABOSS登録者（全体）

	2014年度				2015年度			
	1年	2年	3年	高校教員	1年	2年	3年	高校教員
アサーティブプログラム受講者数	1	4	185	ー	2	17	538	ー
MANABOSS全登録者数	3	4	129	9	2	14	368	6
プログラム受講済の登録者数	1	2	112	ー	1	10	347	ー
プログラム受講者のうち、MANABOSS登録者の割合	100.0%	50.0%	60.5%	ー	50.0%	58.8%	64.5%	ー

※3年生の登録者数は、前年度比23%増。アサーティブプログラム受講者のうち、MANABOSSに登録している人数の割合は、年々増加傾向にある。

◆アサーティブ入試　志願者におけるMANABOSS利用者数

※ログイン履歴が1回以上の登録者を「利用者」としてカウント。　※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。　※2014年度（2015年度入試）はアサーティブ入試は1日程のみ実施。

アサーティブ入試 前期日程	2014年度（2015年度入試）			2015年度（2016年度入試）		
	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率
志願者	91	77	84.6%	203	191	94.1%
合格者	53	48	90.6%	89	87	97.8%

アサーティブ入試 後期日程	2015年度（2016年度入試）		
	対象者数	利用者数	利用率
志願者	87	79	90.8%
合格者	41	38	92.7%

※前期日程、後期日程の両方において、志願者・合格者双方共にMANABOSSの利用率が高い。

◆アサーティブ入試　志願者のうち、MANABOSS（基礎学力問題）利用状況

※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。　※2014年度（2015年度入試）はアサーティブ入試は1日程のみ実施。　※搭載問題数…言語能力問題1,845問、非言語能力問題2,190問。合計4,035問。

アサーティブ入試 前期日程	2014年度（2015年度入試） ※2014年4月1日～10月19日のデータ							2015年度（2016年度入試） ※2015年4月1日～9月19日のデータ						
	対象者数	利用日数（日）			回答数			対象者数	利用日数（日）			回答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低
合格者	53	12	57	0	459	989	0	89	15	71	1	934	5387	10
不合格者	32	11	49	0	307	880	0	106	13	59	1	648	4339	4

アサーティブ入試 後期日程	2015年度（2016年度入試） ※2015年4月1日～11月28日のデータ						
	対象者数	利用日数（日）			回答数		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低
合格者	41	24	80	1	1126	3378	1
不合格者	40	16	67	1	1115	5034	22

アサーティブ入試A日程　不合格者のうち、B日程に再受験した者のMANABOSS利用状況

	対象者数	利用日数 平均	利用日数 最高	利用日数 最低	回答数 平均	回答数 最高	回答数 最低
合格者	15	28	80	1	1318	3406	454
不合格者	11	27	67	1	1870	4917	60

（単位:名）

2016年度				2017年度				2018年度			
1年	2年	3年	高校教員	1年	2年	3年	高校教員	1年	2年	3年	高校教員
1	32	717	—	4	37	731	—	2	39	950	—
9	14	513	15	3	9	580	17	5	14	714	26
1	11	467	—	0	5	484	—	2	4	649	—
100.0%	34.4%	65.1%	—	0.0%	13.5%	66.2%	—	100.0%	10.3%	68.3%	—

（単位:名）

2016年度（2017年度入試）			2017年度（2018年度入試）			2018年度（2019年度入試）		
対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率
261	233	89.3%	270	261	96.7%	414	407	98.3%
130	119	91.5%	137	127	92.7%	85	84	98.8%

2016年度（2017年度入試）			2017年度（2018年度入試）			2018年度（2019年度入試）		
対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率	対象者数	利用者数	利用率
134	124	92.5%	113	110	97.3%	100	98	98.0%
60	57	95.0%	60	57	95.0%	29	29	100.0%

2016年度（2017年度入試）※2016年4月1日~9月23日のデータ							2017年度（2018年度入試）※2017年4月1日~9月22日のデータ							2018年度（2019年度入試）※2018年4月1日~9月21日のデータ						
対象者数	利用日数（日）			回答数			対象者数	利用日数（日）			回答数			対象者数	利用日数（日）			回答数		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低
130	13	43	1	808	6247	0	137	17	76	1	1069	11815	16	85	23	79	2	1545	8465	23
129	12	49	1	455	3829	4	123	17	60	1	1055	8160	7	303	15	87	1	829	8784	2

2016年度（2017年度入試）※2016年4月1日~11月25日のデータ							2017年度（2018年度入試）※2017年4月1日~11月25日のデータ							2018年度（2019年度入試）※2018年4月1日~11月30日のデータ						
対象者数	利用日数（日）			回答数			対象者数	利用日数（日）			回答数			対象者数	利用日数（日）			回答数		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低
60	15	52	1	718	2701	5	60	15	81	1	650	2248	12	29	29	87	4	1632	7174	51
69	14	69	1	789	6326	9	47	18	59	1	1036	5321	1	69	15	76	1	720	8784	3

19	19	52	1	977	2572	8	14	24	81	5	871	2146	44	14	34	87	4	1479	4364	51
18	18	69	1	1372	6326	91	19	28	59	8	1514	5321	55	36	20	76	1	890	8784	4

MANABOSS（マナボス）登録・利用者数および利用状況

◆アサーティブ入試後期日程2次試験終了後の継続利用者数

※アサーティブ入試前期日程・後期日程志願者数の合計を対象者数としている。ただし2014年度は後期日程は実施していないため1日程のみ。　※基礎学力問題の回答数を集計している。
※2017年度入試まで、前期日程はA日程、後期日程はB日程として実施。

2014年度（2015年度入試）						2015年度（2016年度入試）						2016年度（2017年度入試）					
対象者数	利用者数	利用日数平均	最高利用日数	回答数平均	最高回答数	対象者数	利用者数	利用日数平均	最高利用日数	回答数平均	最高回答数	対象者数	利用者数	利用日数平均	最高利用日数	回答数平均	最高回答数
89	1	1.5	2	161	161	290	8	1.5	3	12.9	105	395	8	0.8	2	33.3	90

2017年度（2018年度入試）						2018年度（2019年度入試）					
対象者数	利用者数	利用日数平均	最高利用日数	回答数平均	最高回答数	対象者数	利用者数	利用日数平均	最高利用日数	回答数平均	最高回答数
383	61	1.1	3	19.1	137	514	12	4.4	22	151.8	1358

◆追手門学院バカロレア　利用者数

2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
0	0	57	0	1	159	0	0	225	0	2	182	0	0	232

◆英検過去問題　利用状況

達成級	2016年度	2017年度	2018年度
5級未達成	133	125	239
5級	52	34	54
4級	19	11	23
3級	6	6	8
準2級	1	1	1
2級	1	0	1
準1級	0	0	0
1級	0	0	0
合計	212	177	326

◆MANABOSSドリル　利用者数および利用状況

※MANABOSSドリルは2017年4月より搭載。　※MANABOSSドリルへのログイン履歴が1回以上の登録者を「利用者」としてカウント。

	2017年度　※2017年4月1日～3月1日のデータ							2018年度　※2018年4月1日～3月1日のデータ						
	利用者数	利用日数（日）			学習時間			対象者数	利用日数（日）			学習時間		
		平均	最高	最低	平均	最高	最低		平均	最高	最低	平均	最高	最低
ベーシックコース	322	3	57	1	0:14:53	12:45:13	0:00:00	492	3	93	1	0:17:41	17:17:25	0:00:00
スタンダードコース	251	4	61	1	0:30:27	3:53:53	0:00:00	384	3	61	1	0:14:50	9:19:25	0:00:00

◆MANABOSSドリル　教科別利用状況

	2017年度　※2017年4月1日～3月1日のデータ															2018年度　※2018年4月1日～11月30日のデータ														
	数学			国語			英語			理科			社会			数学			国語			英語			理科			社会		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
ベーシックコース	5	78	1	6	58	1	2	7	1	2	6	1	3	10	1	6	40	1	3	32	1	8	97	1	10	48	1	14	41	1
スタンダードコース	7	38	1	4	19	1	1	2	1	3	9	1	2	4	1	3	10	1	5	40	1	5	15	1	3	8	1	9	30	1

MANABOSS(マナボス)問題数

◆基礎学力問題　搭載数一覧

問題分野	カテゴリ	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	小計
言語能力	二語関係	66	31	2	27	22	148
	同意語／同義語	45	23	33	29	19	149
	反義語／反語	55	22	26	27	19	149
	慣用句	63	16	19	24	24	146
	ことわざ	3	16	53	32	42	146
	語句の用法	45	22	36	19	24	146
	熟語	49	21	24	26	29	149
	言葉の意味	37	17	22	32	37	145
	言葉の用法	50	28	20	22	27	147
	敬語	40	21	33	22	27	143
	文書整序	18	11	43	22	22	116
	長文読解	34	15	21	20	20	110
	漢字	0	77	8	38	28	151
言語能力問題合計		505	320	340	340	340	1845
非言語能力	推論	8	15	46	40	35	144
	集合	9	32	30	40	35	146
	表の読み取り	5	32	33	35	35	140
	順列・組み合わせ	11	41	20	40	30	142
	確率	8	42	24	40	35	149
	代金の精算	3	40	27	35	36	141
	料金の割引	5	40	36	35	30	146
	分割払い	2	32	47	35	30	146
	損益算	8	41	22	35	35	141
	仕事算	13	33	26	36	36	144
	速さ・時間・距離	13	51	13	34	38	149
	グラフの領域	5	30	32	30	40	137
	物の流れと比率	6	15	45	30	40	136
	装置と回路	4	15	51	30	40	140
	基礎学力	0	11	88	45	45	189
非言語能力問題合計		100	470	540	540	540	2190
合　計		605	790	880	880	880	4035

◆追手門学院バカロレア問題 ※全28問より抜粋

○あなたは今、この瞬間存在しますか。もし存在するとしたら、どのようにしてそれを証明しますか?

○「古池や、かわず飛び込むみずの音」という有名な俳句があります。
この句を絶賛して下さい。そして次にこの句を酷評してみて下さい。

○アメリカからインドに送られた農業用の機械が多数、部品と知識の欠如から、打ち捨てられています。
この種の無駄を避け、インドの農民の機械利用を助ける方法を考えてください。(出典:オペレーションズリサーチの数学的方法)

○「正義」とはなにか。

○人はなぜ働かなければならないのでしょうか?

○世の中やあなたの身の回りには無料の物やサービスが多くあります。
出来るだけ多くの例を挙げて、それぞれが何故無料なのか説明してください。

○雨の降っている日に歩いて濡れない方法をできるだけ多く挙げてください。

アサーティブ入試日程・募集人員

〔2015年度入試〕

◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科	募集人員
経　済	経　済	10
経　営	経　営	5
	マーケティング	5
地域創造	地域創造	10
社　会	社　会	10
心　理	心　理	10
国際教養	アジア	5
	英語コミュニケーション	5
合　計		60

□ アサーティブ入試入学人員:60名
□ アサーティブ入試日程
出願期間:2014.8.20(水)~8.28(木)
試 験 日:(1次試験) 2014.9.7(日) グループディスカッション
(2次試験) 2014.10.19(日) 基礎学力適性検査、個別面接
合格発表:(1次試験) 2014.9.11(木)
(2次試験) 2014.10.24(金)
入学手続:2014.11.12(水)〆切

〔2016年度入試〕

◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科	募集人員
経　済	経　済	15
経　営	経　営	15
	マーケティング	15
地域創造	地域創造	11
社　会	社　会	22
心　理	心　理	15
国際教養	アジア	8
	英語コミュニケーション※	10
合　計		111

※国際教養学部英語コミュニケーション学科は、2016年4月より国際教養学部国際教養学科に名称変更。

□ アサーティブ入学人員:111名
□ アサーティブ入試A日程
出願期間:2015.8.20(木)~8.28(金)
試 験 日:(1次試験)2015.9.5(土)グループディスカッション
(2次試験)2015.9.19(土)基礎学力適性検査、個別面接
合格発表:(1次試験)2015.9.10(木)
(2次試験)2015.9.25(金)
入学手続:2015.10.23(金)〆切
□ アサーティブ入試B日程
出願期間:2015.10.28(水)~11.6(金)
試 験 日:(1次試験)2015.11.14(土)グループディスカッション
(2次試験)2015.11.28(土)基礎学力適性検査、個別面接
合格発表:(1次試験)2015.11.20(金)
(2次試験)2015.12.4(金)
入学手続:2015.12.21(月)〆切

〔2017年度入試〕

◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科	募集人員
経　済	経　済	48
経　営	経　営	29
	マーケティング	29
地域創造	地域創造	20
社　会	社　会	30
心　理	心　理	29
国際教養	アジア※	14
	国際教養	17
合　計		216

※国際教養学部アジア学科は、2017年4月より国際教養学部国際日本学科に名称変更。

□ アサーティブ入学人員:216名
□ アサーティブ入試A日程
出願期間:2016.8.19(金)~8.29(月)
試 験 日:(1次試験)2016.9.10(土)グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2016.9.24(土)個別面接
合格発表:(1次試験)2016.9.13(火)
(2次試験)2016.9.30(金)
入学手続:2016.10.28(金)〆切
□ アサーティブ入試B日程
出願期間:2016.10.26(水)~11.2(水)
試 験 日:(1次試験)2016.11.13(日)グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2016.11.26(土)個別面接
合格発表:(1次試験)2016.11.18(金)
(2次試験)2016.12.2(金)
入学手続:2016.12.22(木)〆切

〔2018年度入試〕

◆学部・学科別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科	募集人員
経　済	経　済	48
経　営	経　営	29
	マーケティング	29
地域創造	地域創造	20
社　会	社　会	30
心　理	心　理	29
国際教養	国際教養	20
	国際日本	25
合　計		230

□ アサーティブ入学人員:230名
□ アサーティブ入試前期日程
出願期間:2017.8.19(土)~8.28(月)
試 験 日:(1次試験)2017.9.9(土)グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2017.9.23(土)個別面接
合格発表:(1次試験)2017.9.12(火)
(2次試験)2017.9.29(金)
入学手続:2017.10.20(金)〆切
□ アサーティブ入試後期日程
出願期間:2017.10.23(月)~10.31(火)
試 験 日:(1次試験)2017.11.16(木)グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2017.11.26(日)個別面接
合格発表:(1次試験)2017.11.20(月)
(2次試験)2017.12. 1(金)
入学手続:2017.12.20(水)〆切

〔2019年度入試〕

◆学部・学科および専攻別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科・専　攻	募集人員
経　済	経　済	39
経　営	経　営　経営・マーケティング専攻	27
	経　営　法務専攻	11
	経　営　ビジネス心理専攻	10
	経　営　情報システム専攻	7
地域創造	地域創造	16
社　会	社　会	27
心　理	心　理	27
国際教養	国際教養	16
	国際日本	20
合　計		200

□ アサーティブ入学人員:200名
□ アサーティブ入試前期日程
出願期間:2018.8.20(月)~8.27(月)
試 験 日:(1次試験)2018.9.8(土) グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2018.9.22(土) 個別面接
合格発表:(1次試験)2018.9.12(水)
(2次試験)2018.9.28(金)
入学手続:2018.10.18(木)〆切
□ アサーティブ入試後期日程
出願期間:2018.10.23(火)~10.30(火)
試 験 日:(1次試験)2018.11.20(火) グループディスカッション、基礎学力適性検査
(2次試験)2018.12.1(土) 個別面接
合格発表:(1次試験)2018.11.22(木)
(2次試験)2018.12.7(金)
入学手続:2018.12.25(火)〆切

〔2020年度入試〕(2019年4月時点)

◆学部・学科および専攻別の募集人員

(単位:名)

学　部	学　科・専　攻	募集人員
経　済	経　済	24
経　営	経　営　経営・マーケティング専攻	14
	経　営　法務専攻	5
	経　営　ビジネス心理専攻	5
	経　営　情報システム専攻	4
地域創造	地域創造	14
社　会	社　会　社会学専攻	12
	社　会　スポーツ文化学専攻	10
心　理	心　理	13
国際教養	国際教養	9
	国際日本	10
合　計		120

□ アサーティブ入学人員：120名

□ アサーティブ入試日程

出願期間：2019.9.9(月)~9.17(火)

試 験 日：(1次試験)2019.9.28(土) グループディスカッション、基礎学力適性検査

(2次試験)2019.10.12(土) 個別面接

合格発表：(1次試験)2019.10.2(水)

(2次試験)2019.10.25(金)

入学手続：2019.11.25(月)〆切

アサーティブプログラム・アサーティブ入試について

出身校都道府県別 人数一覧

(単位:名)

都道府県	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
	プログラム	アサーティブ入試		プログラム	アサーティブ入試		プログラム	アサーティブ入試		プログラム	アサーティブ入試		プログラム	アサーティブ入試	
		志願者	合格者		志願者 (A.B日程)	合格者 (A.B日程)		志願者 (A.B日程)	合格者 (A.B日程)		志願者 (前.後期日程)	合格者 (前.後期日程)		志願者 (前.後期日程)	合格者 (前.後期日程)
	1~3年生	3年生のみ	3年生のみ	1~3年生	3年生のみ	3年生のみ	1~3年生	3年生のみ	3年生のみ	1~3年生	3年生のみ	3年生のみ	1~3年生	3年生のみ	3年生のみ
北海道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
東京都	0	0	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1
長野県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
石川県	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
福井県	2	0	0	1	1	0	2	1	1	2	1	1	1	0	0
岐阜県	0	0	0	1	0	0	2	2	2	1	1	1	2	2	1
静岡県	1	1	0	2	1	1	3	3	2	3	1	0	0	0	0
愛知県	1	0	0	2	1	0	2	1	1	2	2	1	2	1	1
三重県	2	2	1	9	4	2	4	1	1	3	2	2	7	3	0
滋賀県	12	3	1	26	19	9	26	16	8	35	12	8	49	22	7
京都府	18	8	6	36	22	12	57	26	13	38	21	12	78	41	7
大阪府	98	51	29	325	142	65	481	222	129	517	229	128	609	272	66
兵庫県	28	12	8	84	35	23	88	50	21	88	39	19	121	62	15
奈良県	3	1	1	10	3	1	9	4	1	9	5	2	17	8	2
和歌山県	1	0	0	6	2	0	9	3	1	8	5	3	7	5	0
鳥取県	1	1	0	3	2	1	1	0	0	1	0	0	8	5	2
島根県	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
岡山県	1	1	1	5	4	2	7	3	1	2	2	0	12	4	2
広島県	4	2	2	6	5	4	1	0	0	0	0	0	2	1	1
山口県	0	0	0	2	2	1	0	0	0	1	1	1	2	1	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5	3	0
香川県	2	2	1	2	1	1	3	1	1	7	5	4	8	3	3
愛媛県	0	0	0	2	0	0	2	1	1	6	1	1	1	1	0
高知県	1	1	1	1	1	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0
福岡県	0	0	0	2	0	0	3	1	1	0	0	0	3	2	2
大分県	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	0
通信制	11	6	2	22	12	5	42	20	5	42	19	13	46	21	4
ハワイ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
在外教育施設	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高卒認定	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校中退	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(実人数)	190	91	53	557	262	130	751	358	190	772	349	197	991	462	114

アサーティブ入試について

学科別　志願・合格・入学者数

（単位:名）

1次志願者数

学科	2015年度			2016年度							2017年度							2018年度						
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	27	0	27	6	0	6	33	31	2	33	23	2	25	58	23	1	24	11	0	11	35
経営	6	2	8	34	4	38	22	1	23	61	16	4	20	11	4	15	35	21	6	27	17	1	18	45
マーケティング	9	7	16	23	9	32	13	7	20	52	29	20	49	12	3	15	64	34	7	41	14	3	17	58
地域創造	10	1	11	14	5	19	7	1	8	27	11	2	13	6	1	7	20	20	4	24	6	0	6	30
社会	1	4	5	12	10	22	6	4	10	32	39	7	46	20	5	25	71	36	11	47	9	4	13	60
心理	24	21	45	20	27	47	3	12	15	62	38	33	71	20	14	34	105	35	33	68	24	6	30	98
国際教養※	1	3	4	5	6	11	4	0	4	15	10	5	15	5	3	8	23	14	13	27	4	3	7	34
国際日本※	1	1	2	2	5	7	1	0	1	8	2	12	14	1	4	5	19	9	3	12	7	4	11	23
合計	52	39	91	137	66	203	62	25	87	290	176	85	261	98	36	134	395	192	78	270	92	21	113	383

1次合格者数

学科	2015年度			2016年度							2017年度							2018年度						
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	25	0	25	5	0	5	30	22	0	22	15	2	17	39	17	1	18	7	0	7	25
経営	4	2	6	31	4	35	19	1	20	55	9	3	12	5	1	6	18	14	4	18	11	1	12	30
マーケティング	9	7	16	20	8	28	10	6	16	44	13	12	25	5	0	5	30	19	3	22	9	0	9	31
地域創造	10	1	11	13	4	17	5	1	6	23	8	1	9	5	1	6	15	17	2	19	5	0	5	24
社会	1	3	4	11	10	21	4	4	8	29	24	6	30	7	3	10	40	17	7	24	5	2	7	31
心理	19	19	38	20	26	46	2	11	13	59	14	14	28	6	8	14	42	18	18	36	9	3	12	48
国際教養※	1	2	3	3	6	9	3	0	3	12	6	3	9	5	2	7	16	5	8	13	3	3	6	19
国際日本※	1	1	2	2	5	7	1	0	1	8	2	7	9	1	3	4	13	8	3	11	7	4	11	22
合計	45	35	80	125	63	188	49	23	72	260	98	46	144	49	20	69	213	115	46	161	56	13	69	230

2次合格者数

学科	2015年度			2016年度							2017年度							2018年度						
				A日程			B日程			合計	A日程			B日程			合計	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
経済	0	0	0	12	0	12	2	0	2	14	19	0	19	14	2	16	35	13	1	14	7	0	7	21
経営	4	2	6	13	2	15	10	0	10	25	9	3	12	5	1	6	18	12	4	16	10	1	11	27
マーケティング	5	5	10	8	5	13	6	4	10	23	12	12	24	4	0	4	28	19	3	22	9	0	9	31
地域創造	9	1	10	4	3	7	5	0	5	12	7	1	8	3	0	3	11	14	2	16	4	0	4	20
社会	1	2	3	9	9	18	3	3	6	24	22	5	27	5	2	7	34	13	7	20	5	2	7	27
心理	9	10	19	6	8	14	0	5	5	19	10	13	23	6	8	14	37	9	17	26	7	2	9	35
国際教養※	1	2	3	1	4	5	2	0	2	7	5	3	8	5	1	6	14	5	8	13	2	3	5	18
国際日本※	1	1	2	1	4	5	1	0	1	6	2	7	9	1	3	4	13	7	3	10	4	4	8	18
合計	30	23	53	54	35	89	29	12	41	130	86	44	130	43	17	60	190	92	45	137	48	12	60	197
入学者	30	22	52	52	35	87	29	12	41	128	86	44	130	43	17	60	190	91	45	136	48	12	60	196

※国際教養学科は、2015年度までは英語コミュニケーション学科。
※国際日本学科は、2016年度まではアジア学科。

1次志願者数

学科/コース	2019年度						
	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	
経済	35	4	39	10	1	11	50
経営·マーケティング	46	30	76	22	4	26	102
法務	4	3	7	3	0	3	10
ビジネス心理	20	16	36	2	3	5	41
情報システム	2	1	3	0	2	2	5
地域創造	31	18	49	3	2	5	54
社会	49	21	70	5	2	7	77
心理	43	38	81	14	8	22	103
国際教養	11	15	26	8	2	10	36
国際日本	15	12	27	7	2	9	36
合計	256	158	414	74	26	100	514

1次合格者数

学科/コース	2019年度						
	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	
経済	15	2	17	5	1	6	23
経営·マーケティング	6	8	14	8	1	9	23
法務	1	0	1	1	0	1	2
ビジネス心理	4	2	6	1	1	2	8
情報システム	1	0	1	0	1	1	2
地域創造	5	5	10	1	0	1	11
社会	8	6	14	2	0	2	16
心理	8	12	20	4	2	6	26
国際教養	1	6	7	5	0	5	12
国際日本	7	3	10	2	1	3	13
合計	56	44	100	29	7	36	136

2次合格者数

学科/コース	2019年度						
	前期日程			後期日程			合計
	男	女	合計	男	女	計	
経済	11	1	12	3	1	4	16
経営·マーケティング	6	7	13	8	1	9	22
法務	1	0	1	1	0	1	2
ビジネス心理	4	2	6	1	1	2	8
情報システム	1	0	1	0	1	1	2
地域創造	3	5	8	1	0	1	9
社会	7	5	12	2	0	2	14
心理	7	10	17	2	2	4	21
国際教養	1	6	7	2	0	2	9
国際日本	5	3	8	2	1	3	11
合計	46	39	85	22	7	29	114
入学者	46	39	85	22	7	29	114

※経営学科、マーケティング学科が4専攻での募集へ変更

アサーティブプログラム受講者　入試種別 志願・合格・入学者数

（単位：名）

入試種別	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者	志願者数 ※複数出願あり	合格者数 ※複数合格あり	入学者
アサーティブ前期	91	53	52	203	89	87	261	130	130	270	137	136	414	85	85
アサーティブ後期	―	―	―	87	41	41	134	60	60	113	60	60	100	29	29
AO	32	17	17	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
スポーツ推薦前期	1	1	1	3	3	3	4	4	4	4	4	4	9	8	8
スポーツ推薦後期	―	―	―	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0
特別選抜（特別入試）	―	―	―	18	12	12	22	18	18	23	21	21	21	13	13
追手門ファミリー	―	―	―	4	2	2	3	3	3	0	0	0	2	2	2
提携推薦	―	―	―	47	47	47	41	41	41	46	46	46	36	36	36
内部推薦	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校	12	12	12	48	48	48	61	61	61	74	74	74	120	120	120
公募前期　2教科	28	8	5	92	22	16	122	45	33	92	23	17	343	29	19
公募前期　数学	―	―	―	―	―	―	―	―	―	15	2	2	37	7	7
公募前期　地歴公民	―	―	―	―	―	―	―	―	―	17	5	2	―	―	―
公募前期　小論文	12	5	5	31	8	6	21	9	1	16	8	7	11	4	3
公募後期　2教科	10	2	2	36	6	5	56	11	10	48	8	5	109	0	0
小論文B	1	0	0	3	1	1	―	―	―	―	―	―	―	―	―
一般前期　3教科	11	5	5	38	7	5	59	5	4	20	0	0	82	0	0
一般前期　2教科	10	0	0	25	4	3	37	0	0	38	2	1	136	5	3
一般S（後期）	2	0	0	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
一般後期　2教科	3	1	1	18	1	1	24	1	1	18	0	0	15	4	4
一般最終　チャレンジ	2	0	0	5	0	0	12	1	1	5	0	0	5	0	0
センター利用前期	0	0	0	8	0	0	9	1	1	5	0	0	9	0	0
センター利用後期	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	3	0	0
センター利用最終	―	―	―	―	―	―	―	―	―	0	0	0	0	0	0
合計	215	104	100	667	292	278	869	390	368	807	391	376	1454	342	329

■2015年度

【アサーティブプログラム受講者数】
221名（延べ数）　190名（実人数）
（うち3年：185名　2年：4名　1年：1名）

【全入試出願者数】
受験対象者　185名（実人数）
出願者数　139名（実人数）
合格者数　103名（実人数）
入学者数　100名（実人数）
（全入学者数　1,725名（実人数））

個別面談からの出願率　75.1%
出願からの合格率　74.1%
合格からの入学率　97%
併願入試の歩留まり率　85.7%

アサーティブプログラム入学者 5.8%
アサーティブ入試入学者　3%

アサーティブ入試 入学者数：52名
（1名辞退※経済的理由）

■2016年度

【アサーティブプログラム受講者数】
710名（延べ数）　557名（実人数）
（うち3年：538名　2年：17名　1年：2名）

【全入試出願者数】
受験対象者　538名（実人数）
出願者数　409名（実人数）
合格者数　287名（実人数）
入学者数　278名（実人数）
（全入学者数　1,594名（実人数））

個別面談からの出願率　76%
出願からの合格率　70.2%
合格からの入学率　96.9%
併願入試の歩留まり率　75.5%

アサーティブプログラム入学者 17.4%
アサーティブ入試入学者　8%

アサーティブ入試 入学者数：128名
（2名入学辞退 ※経済的理由、他大学へ進学）

アサーティブ入試A日程不合格からの
アサーティブ入試B日程出願：28名
（合格：15名）

■2017年度

【アサーティブプログラム受講者数】
906名（延べ数）　751名（実人数）
（うち3年：717名　2年：32名　1年：1名）
※高校中退1名

【全入試出願者数】
受験対象者　717名（実人数）
出願者数　534名（実人数）
合格者数　378名（実人数）
入学者数　368名（実人数）
（全入学者数　1,873名（実人数））

個別面談からの出願率　74.5%
出願からの合格率　70.8%
合格からの入学率　97.4%
併願入試の歩留まり率　69.9%

アサーティブプログラム入学者 19.6%
アサーティブ入試入学者　10.1%

アサーティブ入試 入学者数：190名

アサーティブ入試A日程不合格からの
アサーティブ入試B日程出願：37名
（合格：19名）

■2018年度

【アサーティブプログラム受講者数】
978名（延べ数）　772名（実人数）
（うち3年：731名　2年：37名　1年：4名
※高校中退0名

【全入試出願者数】
受験対象者　731名（実人数）
出願者数　538名（実人数）
合格者数　383名（実人数）
入学者数　376名（実人数）
（全入学者数　1,857名（実人数））

個別面談からの出願率　73.6%
出願からの合格率　71.0%
合格からの入学率　98.2%
併願入試の歩留まり率　70.8%

アサーティブプログラム入学者 20.2%
アサーティブ入試入学者　10.6%

アサーティブ入試 入学者数：196名
（1名辞退※一身上の都合）

アサーティブ入試前期日程不合格からの
アサーティブ入試後期日程出願：34名
（合格：14名）

■2019年度

【アサーティブプログラム受講者数】
1,222名（延べ数）　991名（実人数）
（うち3年：950名　2年：39名　1年：2名）

【全入試出願者数】
受験対象者　950名（実人数）
出願者数　676名（実人数）
合格者数　332名（実人数）
入学者数　329名（実人数）
（全入学者数　1,862名（実人数））

個別面談からの出願率　71.2%
出願からの合格率　49.1%
合格からの入学率　99.1%
併願入試の歩留まり率　96.2 %

アサーティブプログラム入学者 17.7%
アサーティブ入試入学者　6.1%

アサーティブ入試 入学者：114名

アサーティブ入試前期日程不合格からの
アサーティブ入試後期日程出願：52名
（合格：14名）

研修内容・事例紹介

2018年度アサーティブ面談職員研修会を、以下のとおり開催した。

◆目　的

一年を振り返り、多種多様な事例を共有するケースカンファレンスを行い、面談職員の面談力向上を目的とする。

◆開催日時

2018年12月19日(水)　13:00～14:30
2018年12月20日(木)　13:30～15:00
※同一内容を2日間開催

◆参加状況

12月19日(水)…20名
12月20日(木)…18名
合計38名(参加率:59%)

◆場　所

追手門学院大学　1号館3階　会議室1A･B(19日)、会議室5(20日)

◆内　容

1. 大学教育再生加速プログラム(AP)の中間評価結果の報告

平成30年3月16日付けで大学教育再生加速プログラム委員会より届いた「大学教育再生加速プログラム(AP)　中間評価結果の総括」および「大学教育再生加速プログラム(AP)中間評価」の報告を行った。総括評価が最高ランクの「S」であったことや本学の取り組みが優れている点などについて情報共有をした。

2. 2018年度アサーティブ入試　入学者インタビュー結果の報告

2018年度アサーティブ入試入学者を対象に実施したインタビュー結果の報告を行った。なお、インタビュー結果は、別途資料あり。

3. 職員による発表

両日とも、それぞれ2名の職員から以下のテーマで発表を行った。
・今年度から面談職員となった職員「初めて面談した感想」
・以前より面談職員となっている職員「これまでの高校生の変化」

4. 学生による発表

アサーティブ入試で入学した4年生が大学4年間を振り返り、「4年間の学生生活の中にアサーティブが活かされていること」「面談職員に求めるもの」「就職までの過程」といった内容を踏まえ発表を行った。

5. グループディスカッション

「これからのアサーティブ面談職員の課題」をテーマに、グループに分かれディスカッションを行った。ディスカッション終了後、グループごとで発表を行った。「面談証明書だけをもらいに来ている高校生が増えている気がする」「面談職員のスキルアップが必要ではないか」「面談で話した内容が良かったのか、悪かったのか確認できないので共有したい」といった意見が出された。

6. アンケート

面談職員に関するアンケート用紙を配布。アンケートへの回答は、別途資料としてまとめている。

<研修会のまとめ>

グループディスカッションでは、面談職員一人ひとりがこれまでの個別面談を振り返りながら、多くの問題提起がされ、非常に有意義なものとなった。職員による発表は、初めての試みであったが、それぞれの事例を聞くことができ、情報を共有できたため大変良かった。学生による発表は、学生自身による実体験であったため、面談職員の心に響いたのではないだろうか。また、12月19日には、外部評価委員2名の研修会視察があり、好評をいただいた。
グループディスカッションやアンケートの回答をまとめ、次年度に向けた問題提議につなげていく。

個別面談職員・研修日程

◆アサーティブ面談職員数

2014年度:32名
2015年度:新たに22名　合計54名
2016年度:新たに10名　合計62名
2017年度:新たに　4名　合計60名
2018年度:新たに10名　合計66名　(※退職者等は除いている)

(単位:名)

部署名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
副学長	1	1	1	1	1
内部監査室	1	2	2	1	1
理事長室　学長室	1	1	7	6	5
教学政策課					
経営戦略課		2			
総務課	3	3	5	4	4
人事課	2	3	3	4	4
財務課	1	2	2	2	2
学事課	1	4			
広報課		1	2	2	2
評価推進課					
学部設置課		1			
一貫連携教育部			2		
教務課	8	8	9	6	7
教育支援課	2	2			
教育企画課			1	1	2
学生課	1	3	4	6	7
教職支援センター				1	1
課外活動推進課	2				
就職・キャリア支援課	1	2	4	4	4
国際交流教育センター	1	2	3	2	3
情報メディア課		3	2	2	4
株式会社オーティーエム	1	2	1		
入試課	6	9	8	7	7
アサーティブ課			3	5	5
中・高等学校				2	2
大手前中・高等学校		1	1	1	1
初等中等室		1	1	1	2
小学校					1
校友課					1
合計	32	53	61	58	66

※所属は各年度初め時点とする。　※人数は各年度末時点とする。ただし、2018年度は4月24日時点の人数とする。

◆研修日程

2014年度
①2014年3月28日
②2014年4月22日
③2015年2月25日
④2015年3月24日
※③、④は同内容

2015年度
①2015年12月8日
②2015年12月9日
③2015年12月11日
※①、②、③は同内容

2016年度
①2016年12月6日
②2016年12月7日
③2016年12月8日
※①、②、③は同内容

2017年度
①2018年1月16日
②2018年1月17日
※①、②は同内容

入学前学習

1. 時期

2018年12月19日(水)発送
2019年　2月　4日(月)提出締め切り

2. 課題

❶ あなたの生まれた日の新聞を読んでください。
※<お誕生日>という大切な日に発行された読売新聞紙面で作製した「記念日の新聞」のコピーを合格者に提供。

❷ 毎年年末になると報道関係から発表される「10大ニュース」を調べてみましょう。
※生まれた年から高校2年生までの17年分です。

❸ 毎年の10大ニュースから、自分の興味を持ったニュースをそれぞれ3つ選びます。ワークシート「私の選んだ毎年のニュース」に、生まれた年から記入をします。

❹ 今まであなたが成長してきた過程と、毎年のニュースを対比してください。そこから考えたことを踏まえ、これからの大学生活や将来に向けての思いを800字以内でまとめてください。

3. 目的

合格者に大学入学までの高校生活の充実と、
大学で学ぶことを考え続けることができる課題を用意する。
人の行動や考えは、社会の動きから様々な影響を受けていることを実感してもらうために、
毎年末に新聞等で発表される10大ニュースを生まれてから入学までの毎年分を調べ、
社会の動向と自分の人生と照らし合わせ、
改めて大学進学の意味や学ぶ学科での学び方を意識化することを目的とする。

学生コメント

◯普段あまりニュースを見ないので、ニュースを見るきっかけになった。
また、新聞やニュースを見る習慣も身に付いた。

◯毎年たくさんの事件や出来事が起こっていることを知り、新しい気付きも多かったので、その気付きを元に大学入学後の勉強にも繋げていきたいと思った。

◯海外ではテロなど悲惨な事件が多いという新たな発見ができた。
量が多く大変だったが、新しい発見があったので楽しく取り組めた。

◯生まれて間もない頃のニュースは知らないことが多かったので、
親に質問することが多く、親と会話するきっかけにもなった。

◯自分で1つずつ調べていくスタイルの課題だったので、
とてもやりがいがあり、大学での学びを先取りしていると実感できた。

報道関係・講演依頼・来訪調査

1.新聞

掲載日	新聞名	ページ	タイトル
2018年11月5日	朝日新聞	18頁	進学特集　求められる「力」も変わる
2018年11月13日	毎日新聞	26頁	高大接続改革は必要　入試での評価議論

2.雑誌

掲載日	雑誌名	発行元	タイトル
2018年9-10月号	Between	Benesse	入試改革先行大学に聞く! 追手門学院大学
2018年12月7日	こうえき第3号	こうえき	大学ガバナンス改革から教学改革へ
2019年1月21日	AERA	AERA	大学入試改革がわかる
2019年特別号	Guideline	河合塾	高大接続改革と大学教育

3.インターネット

掲載日	媒体名	タイトル
2018年4月16日	毎日新聞@大学	アサーティブプログラム・入試が教職協働の先進的事例として注目
2018年5月9日	Between情報サイト	追手門学院大学～アサーティブ入試の検証から施策の改善・立案へ(上)
2018年5月15日	Between情報サイト	追手門学院大学～アサーティブ入試の検証から施策の改善・立案へ(下)

4.講演依頼(高校)

実施日	所在地	高等学校名	対象人数	講演者	タイトル
2018年4月16日	長野県	地球環境高等学校	約50名(1、2、3年生全学年)	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年4月17日	長野県	地球環境高等学校	約20名(1、2、3年生全学年)	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年4月21日	兵庫県	園田学園高等学校	3年生55名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年5月10日	大阪府	箕面東高等学校	3年生48名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年5月22日	栃木県	茂木高等学校	30名(茂木高等学校および近隣高等学校教職員)	志村知美	アサーティブプログラム・アサーティブ入試と新たな高大接続について
2018年5月23日	岐阜県	郡上高等学校	保護者約130名	福島一政	アサーティブ講演(保護者説明会)大学卒業後までを見据え、 保護者として我が子にどう向き合うか
2018年6月4日	大阪府	西淀川高等学校	3年生進学クラス24名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2018年7月23日	京都府	東稜高等学校	1年生41名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2018年8月28日	滋賀県	玉川高等学校	教員45名	福島一政	生徒・学生の学びと成長を促す高大接続改革に向けて
2018年8月29日	兵庫県	川西明峰高等学校	2年生60名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2018年9月12日	大阪府	泉北高等学校	1年生2名、2年生1名、3年生1名	学生スタッフ3名	※座談会形式のためタイトルなし
2018年9月13日	滋賀県	八幡高等学校	1年生約320名	志村知美	自分のモノサシを持つ
2018年10月10日	沖縄県	南風原高等学校	1先生約300名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年10月17日	沖縄県	浦添高等学校	1、2年生希望者81名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年10月18日	沖縄県	本部高等学校	全校生徒157名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年11月10日	北海道	北海道美深高等学校	高校生20名、保護者1名、教員3名	福島一政	自分のモノサシを持つ
2018年12月5日	沖縄県	宜野座高等学校	2年生85名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2018年12月8日	滋賀県	八幡高等学校	2年生希望者12名、PTA保護者53名	福島一政	全体講演会
2018年12月15日	大阪府	柴島高等学校	保護者19名、教員3名	江崎誠	全体講演会
2019年2月14日	大阪府	泉北高等学校	2年生約280名	志村知美	こんな話知ってます?
2019年3月13日	沖縄県	美里高等学校	1年37名、2年34名	江崎誠	自分のモノサシを持つ
2019年3月19日	滋賀県	甲西高等学校	1年生約240名	江崎誠	自分のモノサシを持つ

5.講演依頼(大学・その他)

実施日	主催	講演会		講演者	タイトル
2018年6月17日	九州大学基幹教育院次世代型 大学教育開発センター	アドミッションオフィサー養成セミナー	九州大学箱崎キャンパス	志村知美	一緒に育てます! ～アサーティブプログラム・アサーティブ入試
2018年10月29日	私立大学 キャンパスシステム研究会	教育システム分科会	追手門学院大学 1号館 3階 会議室5	志村知美	答えは目の前の学生から ～アサーティブプログラム・アサーティブ入試～
2018年11月10日	毎日新聞社	第11回「高大接続教育改革シンポジウム」 大学入試改革への期待と課題	駿台予備学校 大阪南校	志村知美	答えは目の前の学生から ～アサーティブプログラム・アサーティブ入試～
2018年12月7日	高知大学	高知大学AP事業シンポジウム ポスターセッション	かるぽーと	志村知美 辻川美智子 月田夏乃	追手門学院大学アサーティブの取り組みと学生の成長
2018年12月11日	名古屋大学 高大接続研究センター	名古屋大学高大接続研究センター 「レクチャーシリーズ」	名古屋大学	志村知美	答えは目の前の学生から ～アサーティブプログラム・アサーティブ入試～

6.他大学より来訪調査

実施日	大学名
2018年4月23日	岡山理科大学
2018年10月2日	学校法人　明星学苑

入学者インタビュー調査

アサーティブ入試 入学者の追跡調査（中間報告）　6月21日現在

1. 調査対象者　アサーティブ入試 入学者114名

2. 時期　5月下旬～7月下旬

3. 内容　面談時間は、一人15分程度。質問内容は、以下内容を中心に行う。

- ・アサーティブプログラム・アサーティブ入試全体についての意見・感想
  （個別面談／MANABOSS／1次試験・2次試験／入学前学習など）
- ・大学入学後の過ごし方
  （出欠状況／履修状況／クラブ・サークルなどの参加／学内プログラムの参加など）
- ・大学入学後の気持ちの変化について

4. 目的　アサーティブプログラムで期待している

1. シラバスの活用
2. 講義への参加意欲の向上
3. 各種活動への積極的参加

ができる大学生になっているかを検証すること。

インタビュー結果 ※学生主観による回答

◆インタビュー実施状況

（単位:名）

	アサーティブ入試 入学者	
インタビュー対象者（アサーティブプログラム受講者）	114	
インタビュー実施者	94/114	82.5%

◆インタビュー内容

（単位:名）

	アサーティブ入試 入学者		学生コメント
シラバスの活用	80/94	85.1%	・開講場所や時間を中心に効率よく授業が取れるようにした。 ・評価、授業内容、キャンパスを確認した。 ・ガイダンスでシラバスを知っているし履修登録では困ったことはない。
授業への出席	93/94	98.9%	・100%出席している。大学では自分から取り組む姿勢に変わった。 ・高校生の時に週一ぐらいで休んでいた。今は休まず頑張って来ている。 ・先生との接点が減った。自分から質問をしに行っている。
予習・復習の有無	71/94	75.5%	・高校の時は予習復習していなかったが、今は最初が大事と思ってやっている。 ・予習は苦手な英語中心。復習は小テストの対策にやっている。 ・高校と違い予習復習せず、ついていけなくなるのは自己責任だと気づいた。
各種活動への参加（アルバイト・部活・サークル・学内スタッフ 等）	90/94	95.7%	・アサーティブスタッフ/山祭スタッフ/追風/インターンなどに参加している。 ・アルバイト先に相談できる人がいる。楽しい。 ・資格講座には興味あり。何か資格をと考えているがまだこれと決めていない。
アサーティブノートの活用	44/94	46.8%	・スマホ/自分なりのノートの方が使いやすいから使わなかった。 ・グループディスカッションの練習に活用した。入試前にノートを振り返った。 ・マナボスを使う時にノートを使った。
アサーティブプログラムを受けてよかったこと（学生コメント）	・グループディスカッションの練習が入学後も役立っている。 ・高校では勉強してこなかったがMANABOSSで基礎学力を学び直せて充実した成果を得られた。 ・個別面談で大学について具体的に知ることができたし、自分のわからないことが聞けるからよかった。 ・高校生にとって、親や先生以外の大人と将来について話す貴重な機会だったので良かった。 ・グループディスカッション・面接　苦手だったから初めは受けるのが苦だったが、やってみたらすごくためになった。		

入学者インタビュー

経済学部 経済学科　１年

山本 舞

大阪府立大冠高等学校　出身

私は追手門学院大学を選んで入試方法を調べたときに、初めて追手門学院大学の独自のアサーティブ入試があると知りました。人と話すことが好きな私にとって、グループディスカッションや面接という入試方法は自分を表現することができ、さらに相手の意見を聞き、自分の意見を述べることができる「自分の能力を発揮できる入試」だと思いました。どうしても、第一志望校である追手門学院大学に通いたかった私は、アサーティブ入試の前期と後期を受け、さらに公募入試も受けました。アサーティブ入試の前期で合格できれば良かったのですが、MANABOSS でもあまり勉強をせず、グループディスカッションの練習も1・2回やったくらいで、まともに練習もせず入試に挑みました。

結果は不合格でしたが、自分の勉強不足と準備不足だったことに気づき、その日から私の受験への意識は変わりました。夏休みはバイトと遊びばかりで全くと言って良いほど勉強していませんでした。そのため、次のアサーティブ入試の後期と公募入試まで時間がないため約３か月間は、遊びやバイトの全てを我慢し、勉強する日々でした。アサーティブ入試対策として、MANABOSS を使用し理解するまで何度も先生に教えてもらい、グループディスカッションでは同じ目標を持っている友達と毎朝練習しました。面接に向けても納得のいくまで何度も練習しました。その中で、公募入試の勉強も同時に行いました。受験期間中は何度も不安になり、泣きながら勉強した日もありました。たくさんの我慢と努力の末に、アサーティブ入試の後期で無事合格することができました。

追手門学院大学に合格してからはとても大学生活が楽しみでした。今では授業にも慣れ、友達もでき、毎日楽しく学校に通っています。私が今こうして楽しく学校に通えているのは、受験中に支えてくれた家族や友達や先生方、そして、同じ目標を持って励まし合い、一緒に頑張れた仲間、たくさんの人の応援があったからです。受験は孤独な戦いといいますが、私は自分ひとりでは合格できていなかったと思います。これからは、就職のことも頭に入れながら資格取得などに励み、有意義な学校生活を送ろうと思っています。

心理学部 心理学科　１年

大橋 智輝

学校法人関西学園関西高等学校　出身

私は高校３年間野球部に所属していました。野球のトレーニングの一環で、メンタルトレーニングというものがありました。その内容は、およそ週に 1 回のペースで先生をお招きして、成功をイメージする力を身につけたり、努力を続けるモチベーションを高めるというものでした。私はアスリートのパフォーマンスに、精神面が大きく影響すると考えていました。そのため、このトレーニングはとても興味深く、毎回先生の講義に夢中になっていました。いつしか「自分もこんな仕事に就きたい」と漠然と考えるようにもなりました。

数カ月後、野球部を引退し、進路を決めなければならない時期になりました。それまで、ひたすら野球に没頭していた私は、大学のオープンキャンパスや説明会に行ったことがなく、情報をほとんど知りませんでした。ですが、メンタルコーチの夢があり、そのために心理学部で学びたいという思いだけは強くありました。そんな中、高校の進学指導室で、追手門学院大学の心理学部の情報を入手しました。そこには、幅広い分野で学べるということが記載されており、自分の希望に合っていると感じました。しかし、野球をする毎日で、ほとんど勉強をしていなかった私は、学力に不安がありました。その一方、人と接することや、意見を伝えるということに関しては、人一倍自信がありました。そこで、追手門学院大学ならではのアサーティブ入試という入試方法を知りました。

アサーティブ入試のグループディスカッションは、コミュニケーション能力に自信がある私にとってチャンスだと思い、受験することを決めました。そして、基礎学力適性検査の対策として「MANABOSS」の存在を知りました。勉強の仕方すらあまりわかっていない私でしたが、MANABOSS を使うと勉強しやすく、受験勉強に夢中になれました。大学では、夢に向かって充実した生活を送れています。将来は大学院に進学したいと考えていますが、今の学力では足りないので、これからもっと学びを深めていきたいと考えています。そしていつか、立派なメンタルコーチになって、お世話になった母校に恩返ししたいです。

入学者インタビュー調査

入学者インタビュー

私は高校で今後の進路を決めるにあたり、自身のアイデアを形にして多くの人に役立つ商品を作りたいという考えを持ちました。そんな時、先生に経営と心理について学べる追手門学院大学を勧められオープンキャンパスに参加しました。アサーティブ入試についてはオープンキャンパスで知りました。実際に体験してみて、様々な考え方の意見に触れる機会となり、価値観の違う意見を受けいれること、自身の意見をどうしたら上手く伝えられるかということを考えるきっかけになりました。このことが「絶対入学したい」という気持ちを強固なものにしました。元々、委員長や部活動で主将をしていたこともあり、人をまとめることや意見を伝えることは得意でしたが、より相手のことを思いやり考えを尊重していく大切さと難しさに気づいたのは全国で唯一、アサーティブプログラム・アサーティブ入試を行っている追手門学院大学で経験をしたからだと思っています。

アサーティブ入試に合格してから、他人の意見が違うように自身の意見も日によって違うのではないかと思い、その日その瞬間に思ったことを書き留めるようにしています。最初は聞きたいことを忘れないようにメモしていたのですが、次第に思ったことを書き留めて振り返ってみると問題が起こった時に自身で整理がつけやすく、成長の実感できる習慣だと気づきました。

一から友達を作ることや片道 2 時間かけて通うことは大変な時もあるけど、一人ひとりが自身の考えを持ち自立しやすい環境が整っているだけでなく、尊敬できる人たちに出会えた追手門学院大学に入学したことは後悔していません。自身の目標を叶えるためと好きなように進路を決めていいと言ってくれた両親への感謝を忘れないよう、４年間で夢を叶える準備をしていきたいです。

経営学部 経営学科　１年

出羽 美結

兵庫県立赤穂高等学校　出身

私は高校３年生までどのような進路に進むか悩んでいました。６月から進路について真剣に考え始め、メディア関係の仕事には興味があったので、さらに深く学びたいと思い、社会学部がある大学に進学することを決めました。そして、様々な大学のオープンキャンパスに参加し、その中で追手門学院大学のオープンキャンパスに参加した際に、先生方や学生の方々がとても親切で、専門的な分野が学べると感じ、追手門学院大学に進学しようと決めました。

追手門学院大学を受験すると決心し、どの入試を受けるか悩んでいた時に、担任の先生の勧めもあり、アサーティブガイダンスに参加しました。個別面談ではアサーティブスタッフの方に「なぜ大学の社会学部に行くのか。」と聞かれすぐに答えることができず、もっと自分の気持ちを明確にした方がいいとアドバイスをいただきました。それからどうして大学に行くのか、大学に行って何をするのか、など自分の気持ちをアサーティブノートに書き出しました。その結果、自分の意思をしっかりと持つことができ、自信を持つことができました。アサーティブ入試の対策としては、毎日１つのテーマについて家族と話し合い、それぞれの意見を聞きながら、自分の考えを言葉にすることを習慣付けました。時には、父と意見の食い違いもあり、どのように自分の考えをまとめていいのか悩んだ時もありましたが、自分の考えと違う意見があるということを受け止め、自分らしく思いを伝えることが大事だと気付きました。そして、基礎学力適正検査に向けて「MANABOSS」を毎日利用し勉強に励み、悔いがなく試験に臨むことができました。

大学入学後は、自分の興味や感性を活かし、多様な知識を習得し大学４年間でしかできない様々なことに挑戦していきたいです。

社会学部 社会学科　１年

小谷 茉優

大阪府立門真なみはや高等学校　出身

アサーティブスタッフの活動報告

アサーティブスタッフとは

2016年度よりアサーティブプログラムを経て入学した学生が、高校生のために何かできないかと考え「アサーティブスタッフ」という組織を作った。主な活動内容は、学内での「アサーティブガイダンス・個別面談」開催時の、受付・誘導業務、高校生対応である。中には、自らアサーティブガイダンスを行いたいと手を挙げた学生もおり、大勢の高校生の前で実体験を踏まえた話をしている。また、「先輩学生と話そう!」というコーナーを設け、「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」を経験した先輩学生と高校生が直接会話できる場所を作った。この座談会が非常に好評であり、毎回多数の高校生の来場がある。さらに、先輩学生がファシリテーターを務め、「グループディスカッション体験」ができるようにした。

アサーティブスタッフである彼らと接していると、勉強以外のこともたくさん学びたい、社会に出た時に役立つ力を身につけたいという意欲が伝わってくる。高校生の面談時からずっと見守っているため、成長を直に感じることができる。これも「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」の取り組みにおける大きな成果である。

アサーティブガイダンス

学生自身でスライドを作成し、
アサーティブガイダンスを担当。

グループディスカッションの体験では、
学生がファシリテーターとしてアドバイス。

座談会では、アサーティブスタッフの
先輩と何でも話せる。

2017年度より学院祭である将軍山祭へ参加。
チームを作り、企画から運営まで
学生たちで作り上げました。
チラシや看板も作成し、パンケーキを販売。
見事売り切りました。
この活動で学生同士の絆も深まりました。

おそろいのアサーティブTシャツと、
ど派手な黄色いアサーティブパーカーを着用。
このパーカーのおかげで集客もばっちり!
これで、アサーティブスタッフと
すぐに見つけてもらえました。

アサーティブ入試1期生 卒業者インタビュー調査

アサーティブ入試入学者 1 期生　卒業者追跡調査

1. 調査対象者　アサーティブ入試　卒業者　41名

2. 時期　2018年12月上旬～1月末

3. 内容　面談時間は、一人20分程度。質問内容は以下を中心に行う。

- ・アサーティブプログラムを受けて、入学後の安心感はあったか
- ・大学4年間で成長したと感じるか
- ・追手門学院大学に入学してよかったか

4. 目的　アサーティブプログラムの検証

1.追手門学院大学に入ってよかったか
2.成長実感について

インタビュー結果 ※学生主観による回答

◆インタビュー実施状況

（2018年12月～2019年1月末までの実施）　（単位:名）

	アサーティブ入試 卒業生	
インタビュー対象者（アサーティブプログラム受講者）	41	
インタビュー対象者（アサーティブプログラム受講者）	28/41	68.3%

◆インタビュー内容

（単位:名）

	アサーティブ入試 卒業生		学生コメント
他入試で入学した学生との違いを感じたことがあるか	10/28	35.7%	・自分と向き合い、自己分析ができる機会がよかった。就活の時、自己分析の話を聞いて、アサーティブと一緒だなと感じた。 ・高校3年生で大人と話をして、一緒に考えて表現できたことは自信になった。人生が変わった。 ・アサーティブは多面的な評価を受けることができるので、高校生にはぜひおすすめしたい。
プログラムを受けて、入学後の安心感はあったか	14/28	50.0%	・シラバスの話は授業の履修登録時に役立った。 ・見守ってくれている感じ。困ったことがあれば聞きに行ける場所があるという安心感があった。 ・グループディスカッションに合格したことで話をすることに自信が持てた。
アサーティブ入試で入学したことをどう思うか	とても良かった 17/28 良かった 10/28	96.4%	・色々な人と関われたことが良かった。交友関係が広がった。 ・学力の点数だけで判断するのではなく、中身を見て判定してもらえるのが良い。 ・希望学科に入りたい熱い思いを伝えられる場。それが伝わり合格して入学できて大満足。
大学4年間で成長したと感じるか ※その人の成長の定義も確認する	25/28	89.3%	・ボランティアやバイトなど、さまざまな経験を通して落ち着きが出てきた。先を見通して行動できるようになった。 ・友達と行動していたが、一人で行動できるようになった。自分で物事を決断できるようになった。 ・価値観が広がり他者を受け入れたり、折り合いをつけられるようになった。
追手門大学に入学してよかったか	22/28	78.6%	・先生との距離が近く、いろいろと気にかけてくれるのでありがたかった。 ・心理はさまざまなジャンルの先生が豊富で自分がやりたいことが見つけやすかった。 ・一生の友達に出会えた。
これから アサーティブプログラム・アサーティブ入試に挑戦する高校生に何を伝えたいか	・ぜひ参加してほしい。この入試を通じて、グループディスカッションなど未経験なものを体験できる。多面的な評価をしてくれる。 ・自分を信じて、飾らない自分を出すこと。周りと違う意見でもきちんと伝えるべき。 ・自分が何をしたいのか、自己分析ができる良い機会になる。曖昧な気持ちで受けてほしくない。きちんと自分と向き合ってほしい。 ・グループディスカッションや面接などを早々に経験できることで身につくことも多い。就職活動にも役立つ。		
その他コメント	・ 60/100　-40点はもう少しきちんと授業を受ければよかった。周りに流されていた時期があった。 ・ 70/100　1年生の時は何もしてないから-25点。いろいろやり残した思いがあるから-5点。だが、仲の良い先生や友達がたくさんでき、幅広い交友関係がもてたことは良かった。 ・ 80/100　-20点はもう少し学外で身に着けられることがあったかもしれないと後悔している。 ・250/100　すごく楽しかった。充実していた。失敗もあったけど友達がいたおかげで乗り越えてきた。いろいろな経験が自分を強くしてくれた。高校時代より視野が広がり自己成長を感じる。		

アサーティブスタッフ 卒業者インタビュー（アサーティブ入試１期生）

アサーティブプログラムでは「なぜこの大学に入りたいか、何を学びたいか」という問いかけが、きっかけとなり、日常的に物事に対して「なぜ？」と問いかける事ができるようになりました。「なぜ」ということを考える事により、主体的に動けるようになりました。そのおかげで、大学での学びから得られるものが多くありました。知りたいと思って自ら行動すれば手助けしてくれる人がたくさんいます。そのことに気付いてからは学ぶ事がとても楽しくなりました。（もう少し早く気付けば良かったとも思っています）

大学を卒業してからも目的意識を持つ事を大切にしており、自分は「何のために仕事をしているのか」を考える事でより効果的に作業ができ、もし仕事が辛くなった時でも「どうしてこの仕事を選んだのか」、と考えている事で解決方法が見えてくるのではないかと思います。

沖縄県のガクアルフェスタに
ボランティアスタッフとして参加。

就職先
株式会社ガクアル
営業・企画 担当
山下 泰弘

卒業式に
アサーティブスタッフが
送り出してくれました。

大学卒業後の現在は、沖縄県で進路情報誌を作成している会社で働いています。高校生がより活躍出来る社会にするために進路情報誌の作成だけではなく、ダンスイベントや軽音楽イベント等、また、進路相談会の企画、運営もしています。アサーティブスタッフとして、高校生の進路選択に寄り添う活動を通して、高校生と関わる仕事がしたいとこの会社を選びました。本当に多くの高校生と関わる事ができる仕事で、少しでも高校生の将来に対する不安や現在の課題などをサポート出来るようにと思い働いています。いずれは自分の地元（高知県）などでも同様の活動が出来ると良いなと思っており、そのために日々頑張っています。また大学生活で「知る」楽しさを実感し、卒業後の今でも図書館などに行って勉強をしたり本を読んだりしています。目的意識を持つことの大切さに気付いた４年間でした。

平成31年度 大学教育再生加速プログラム 事業計画（申請当時）

本補助事業の目的

本補助事業の全体の目的は、本学の基盤教育機構が進める「主体的に取り組む姿勢とチームとして行動する能力、個性と協働力の育成を図る」ための少人数教育に直接連動し、改革の成果を確実に加速させることである。本学の建学の理念であり教育の理念である「独立自彊・社会有為」に基づいた教育を実現するためには、主体的に学ぶ姿勢を育てる機能を有した新たなプログラムと入試制度を実現する必要性があった。新しい入試のコンセプトは、「選抜型入試」から「育成型入試」である。

大学進学率が過半数を超え、多様な受験生が増加していることを踏まえ、大学で学ぶ姿勢や意欲を育てるために、発達支援の考え方を取り入れた、大学教育への接続のための新しいプログラム開発である。この趣旨は、大学受験を希望する高校生に、大学で学ぶことへの期待を持たせ、主体的に学ぶ姿勢に変容させて、大学や学部などを決める際の選択肢を自分で選んで決断することの大切さに気付かせて受験に導くことである。本学の教育目的である「独立自彊・社会有為」の人材育成機能の強化を図ることが、本補助事業の目的である。

Acceleration Program
大学教育再生加速プログラム

平成 31 年度補助事業の目的

本補助事業の本年度の目的は、上記プログラムの実施に当たって人材育成機能の強化の目的が達成されているか検証を行うとともに、補助事業最終年度として 6 年間の総括を含めた最終報告会を開催し、その成果を広く社会に還元する。また、新しい高大接続の在り方として応用できるようアサーティブプログラム・アサーティブ入試制度の向上を図ることである。

平成 31 年度補助事業実施計画

計 画 広報媒体を作成し、重点地域を中心に広報を行うとともに高校訪問を実施する。

内 容 本プログラムの一層の普及のため、これまでアサーティブ講演会の実施の多い滋賀県と沖縄県を中心に広報活動を行う。

成 果 アサーティブプログラム･アサーティブ入試の知名度向上とともに、関西エリア以外の入学者に多様な経験のきっかけを提供することができる。

計 画 アサーティブガイダンスを実施する。

内 容 アサーティブプログラムを通じて、高校生に進路選択のきっかけを作る。

成 果 目的意識の高い受験生を安定的に確保することができる。

計 画 入試改革の連携大学を開拓する。

内 容 入試改革に取り組む他大学との意見交換や訪問調査などを行い、本補助事業の普及を行う。

成 果 連携大学間でアサーティブガイダンスを行うことにより、お互いに幅広い地域からの受験生を確保することができる。

計画 MANABOSSシステムについてバージョンアップとコンテンツ開発を行う。

内容 MANABOSSシステムについて学習進捗管理機能のバージョンアップとコンテンツ開発を行う。また、CBTに関する調査、試験導入を本格的に行う。

成果 入学前の学力担保を目指すとともに学習習慣を身につけた学生を確保することができる。

計画 アサーティブ入試入学者のヒヤリング調査を行う。

内容 入学前と入学後の状況をヒヤリングすることで、入学後のフォロー体制を含めスムーズな接続体制を強化する。

成果 入学後の実態を把握することにより、入学前の支援の在り方を検討することができる。

計画 補助事業最終年度報告会（シンポジウム）を開催する。

内容 補助事業の最終年度となるため、シンポジウムを開催しこれまでの取り組みを報告する。

成果 これまでの成果を報告することにより、本学の取り組みが入試改革･高大接続システムの改革の事例となり、今後全国的な先進性を一層発揮できるようにする。

計画 アサーティブ入試実施と出願状況等のデータ分析を行い、来年度の方針を策定する。

内容 アサーティブプログラム受講者の本学出願状況を分析することにより、アサーティブガイダンスや入試日についての検討をする。

成果 受験生の動向分析の結果から課題事項を検討し、ガイダンスの内容や面談の運営を見直すことにより、より多くの高校生に受験の意識を変容させることができる。

計画 入学前学習を実施する。

内容 アサーティブ入試合格者に対し、入学までの高校生活の充実と大学での学びについて考え続けることができるよう課題を用意して、モチベーションの維持に努める。

成果 合格後の過ごし方によって、入学予定者の大学への期待感を醸成し、大学生となる心の準備をすることにより学生生活の向上に結びつけることができる。

計画 アサーティブ面談職員研修会を実施する。

内容 アサーティブ個別面談職員の研修を行う。

成果 面談職員が高校生･学生の実態を的確に把握し、教育改革への具体的な政策提起ができる力量と、ケースカンファレンスにより事例を蓄積することで個々の学生に対する教育支援ができる力を育成することができる。

計画 外部評価委員による評価を受ける。

内容 外部評価委員会で中間報告を行い、改善案や指摘事項を踏まえて外部評価報告会でアサーティブプログラムとアサーティブ入試について評価を受ける。その上で次年度の事業実施に向けて事業内容を見直す。

成果 外部評価委員会で、アサーティブプログラムとアサーティブ入試について評価を受けることにより、より高校生に適切なプログラムを提供でき、高大接続を見直し、改善を図り、高校生により良い進路を考える機会の提供が可能となる。

計画 最終報告書を作成する。

内容 6年間の総括をする。

成果 6年間の総括をまとめ、これまでの取り組みを広く普及する。

計画 アサーティブイベントを開催する。

内容 新学年の高校生に向けたガイダンスを開催する。また、アサーティブイベントを実施することで早期に大学進学の動機付けを図る。

成果 アサーティブイベントでは、300人の参加を見込み、本学への出願につなげていくことができる。

経済学部	経済学科
経営学部	経営学科
地域創造学部	地域創造学科
社会学部	社会学科
心理学部	心理学科
国際教養学部	国際教養学科 / 国際日本学科

2019年7月発刊

アサーティブプログラム・アサーティブ入試 補助事業報告書に関するお問い合わせ

追手門学院大学
アサーティブ課

TEL：072-697-8193
FAX：072-697-8216

- 住所　〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1
- 受付時間　平日（月〜金）9：00〜18：00
- e-mailアドレス　assertive@otemon.ac.jp
- ホームページ　https://www.otemon.ac.jp